

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
34204	情報資源組織演習 (分類) Organization of Library/ Information Resources : Classification	江良友子		専門	1	選択	1年後期

**科目の概要**

「情報資源組織論」で学んだ資料組織化の基礎理論に基づく主題目録法の演習科目として「日本十進分類法」と「基本件名標目表」の考え方を理解する。また、多くの練習問題に取り組むことで分類・件名の与え方を身につける。  
難しい問題に粘り強く取り組むことで自己研鑽し、社会で貢献できる力を身につける。

学修内容	到達目標
① 日本十進分類法の概要を理解する ② 主題分析について理解する ③ 補助表について理解する ④ 固有補助表について理解する ⑤ 分類規定の基本を理解する	① 日本十進分類法の本表と階層構造を理解し、説明することができる ② 主題の特定ができ、相関索引を使用することができる ③ 形式区分、地理区分、海洋区分、言語区分についてじゅうぶん理解して、分類することができる ④ 固有補助表について理解して、分類することができる ⑤ 複数主題の分類を理解して、資料に分類番号を付与することができる

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**

**学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	指示がなくてもシラバスを確認してテスト勉強ができる。
	働きかけ力	
	実行力	自分が考えた分類と異なる分類がされた資料について、なぜそうなっているかを考え、わからなければ質問することができる。
考え抜く力	課題発見力	身近にある図書や雑誌の分類について考えることができる。
	計画力	
	創造力	自分の本棚の資料の分類を考え、配架できる。
チームで働く力	発信力	自分の考えた分類を、授業の中で発表できる。
	傾聴力	話が話をしやすい環境をつくることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席をせず、授業を円滑に進めるようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：講義用レジュメおよび必要に応じて追加資料を配付する。  
『日本十進分類法』 新訂10版 日本図書館協会 2014年 (授業の中で9版又は10版を貸出する)  
『図書館資料の目録と分類』 増訂第5版 日本図書館研究会 2015年 1,210円 が手元にあると学習しやすい。(購入は自己判断とする)。  
参考資料：『情報資源組織法 第2版』 志保田務 著 第一法規 2016年 2,860円

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：図書館に関する科目全て 特に、情報資源組織論と情報資源組織研修 (目録)  
資格との関連：図書館司書

学修上の助言	受講生とのルール
前期開講の「情報資源組織論」の授業を受講していないと理解することが難しい授業内容であるため、情報資源組織論未履修者は事前に相談に来ること。 授業内でテストをすることが多いので、復習に時間をかけて計画的に学習すること。 テスト日に欠席しない(授業内テストで9割評価するため、当日欠席すると単位の取得が難しくなる)。	遅刻・早退は、3回で1回の欠席となる。 6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 欠席した場合は、次回授業日前までに欠席分の配布資料を取りに来ること。 貸出をする『日本十進分類法』は毎回持参すること。 各分類の特徴発表を全員に割り振るので、A4レジュメ1枚にまとめて各自発表指定された前週までに提出すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		90	①	✓	時間中に3回のテスト(評価:30×3)を行い、その結果で評価する。 毎回行う確認テストは評価の参考とする。 ポイント①分類記号の基本手順理解 ②本表(細目表)が理解できている ③分類表の階層構造が理解できている ④主題の特定ができている ⑤相関索引が使用できる ⑥形式区分理解できている ⑦地理区分・海洋区分が理解できている ⑧言語区分・言語共通区分が理解できている ⑨文学共通区分・地理的論述の細区分が理解できている ⑩固有補助表が理解できている ⑪複数主題の分析ができる ⑫所蔵事項としての分類記号が理解できている	
					②	✓		
					③	✓		
					④	✓		
					⑤	✓		
		レポート				①		
						②		
						③		
						④		
						⑤		
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)				①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓	(主体性) ・テスト勉強に自主的に取り組むことができる (実行力) ・わからない問題についても、質問に来るなどして、理解できるまで諦めずに取り組むことができる (課題発見力) ・身の回りにある本の分類を考えることができる (創造力) ・自宅にある本や社会で話題となっている本の分類を考えることができる (発信力) ・各分類の特徴をわかりやすく発表できる (傾聴力) ・おしゃべりや携帯電話の使用、よそごとをしないなど、相手が話をしやすい環境を作ることができる。 (規律性) ・学習意欲欠如をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価 割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)評価 ・筆記試験において小テストのポイントで示した①～⑫全て理解できており、正確な分類記号が付与できる。 ・社会人基礎力にある学修態度が概ね9割以上達成できている。 A(優)評価 ・筆記試験において、小テストのポイントで示した①～⑫のうち11項目以上理解できており、正確な分類記号が付与できる。 ・社会人基礎力にある学修態度が概ね8割以上達成できている。	B(良)評価 ・筆記試験において小テストのポイントで示した①～⑫のうち、9項目以上理解できており、正確な分類記号が付与できる。 ・社会人基礎力にある学修態度が概ね7割以上達成できている。 C(可)評価 ・小テストのポイントで示した①～⑫のうち、7項目以上理解できており、正確な分類記号が付与できる。 ・社会人基礎力にある学修態度が概ね6割以上達成できている。或いは、達成には至らないが努力できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 分類記号とは	講義 質疑応答	分類記号とは何か説明することができる。 書誌コントロールの意義を知り、説明することができる。	(復習) 書誌コントロールとは何かについてノートにまとめる (予習) 貸与した日本十進分類表をみて、手元にある本を3冊程度分類をする	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	主題分析 分類記号を付与する方法	講義 質疑応答	「日本十進分類法」とは何か説明することができる。	(復習) 日本十進分類法の特徴と問題点をまとめる(前期科目情報資源組織論参照) (予習) 森清について調べ、経歴と業績についてまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	主題分析 細目表 階層構造	前回分確認小テスト 答合わせ、フィードバック 0類について発表 講義 質疑応答	単純な分類ができる。 森清とはどのような人物か言うことができる。 0類の特徴を言うことができる。	(復習) 日本十進分類法を使用して、授業で学んだ分類記号付与の基本手順を復習する (予習) 主題分析復習(前期、情報資源組織論参照)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	主題分析 主題の特定 相関索引	前回分確認小テスト 答合わせ、フィードバック 1類について発表 講義 質疑応答	階層概念が理解できる。 索引の種類を3種類以上言うことができる。 1類の特徴を言うことができる。	(復習) 階層構造で使用されている記号を覚える。 (予習) 形式区分の概要を調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	補助表 形式区分	前回分確認小テスト 答合わせ、フィードバック 2類について発表 講義 質疑応答	形式区分の種類を知り、どのようなものか言うことができる。 2類の特徴を言うことができる。	(復習) 日本十進分類法に目を通し、形式区分の種類を書き出す。 第一次区分の概要を理解する。 (予習) 地理区分と海洋区分の概要を調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	補助表 地理区分・海洋区分	前回分確認小テスト 答合わせ、フィードバック 3類について発表 講義 質疑応答	地理区分と海洋区分を知り、どのようなものか言うことができる。 3類の特徴を言うことができる。	(復習) 日本十進分類法に目を通し、地理区分と海洋区分の使い方を理解して分類できるようにする。 (予習) 言語区分・言語共通区分の概要を調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	補助表 言語区分・言語共通区分	前回分確認小テスト 答合わせ、フィードバック 4類について発表 講義 質疑応答	言語区分・言語共通区分を知り、どのようなものか言うことができる。 4類の特徴を言うことができる。	(復習) 日本十進分類法に目を通し、言語区分・言語共通区分の使い方を理解して分類できるようにする。 (予習) 文学共通区分の概要を調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	補助表 文学共通区分	前回分確認小テスト 答合わせ、フィードバック 5類について発表 講義 質疑応答	文学共通区分を知り、どのようなものか言うことができる。 5類の特徴を言うことができる。	(復習) 日本十進分類法に目を通し、文学共通区分、地理的論述の細区分、その他の固有補助表について理解して分類できるようにする。 (その他) テスト勉強:第1~8回の授業内容を復習する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	主題分析と補助表についての確認テスト	テスト	・分類記号の位置付け ・日本十進分類法 ・分類記号付与方法 ・主題分析 ・相関索引 ・補助表 以上について理解し、分類記号を付与できる。	(復習) 第1～8回の授業内容を復習するとともに、小テストで間違えたところを見直す。 (予習) 複数主題をもつ資料とは、どのようなものか考える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	前回テスト答え合わせ 分類規定 複数主題 (1)	答え合わせ フィードバック 6類について発表 講義 質疑応答	テストで不正解だった箇所について、なぜ間違えたかを知り、理解につなげる。 複数主題がある場合、どのように分類するかを理解する。 6類の特徴を言うことができる。	(復習) 返答された答案の見直しと間違えた問題のやり直しをする。 対等と相互作用の関係について書き出して整理する。 (予習) 複数主題をもつ資料の分類方法の概要を調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	分類規定 複数主題 (2)	前回分確認小テスト 答え合わせ フィードバック 7類について発表 講義 質疑応答	複数主題の分類ができる。 7類の特徴を言うことができる。	(復習) 複数主題を持つ場合と原著者・関連著作の分類法について書き出して整理する。 (予習) 伝記の分類(例外規定)を調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	分類規定 その他	前回分確認小テスト 答え合わせ フィードバック 8類について発表 講義と質疑応答	伝記の分類方法を理解し、分類することができる。 8類の特徴を言うことができる。	(復習) 伝記の分類方法について書き出して整理する。 (その他) テスト勉強：第1～11回の授業内容を復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	分類規定の確認テスト	テスト フィードバック	分類規定の中の ・複数主題 ・対等 ・相互作用 ・重点措置 ・原著者 ・関連著作 ・伝記 以上について理解し、分類記号を付与することができる。	(復習) 第10～12回の授業内容を見直すとともに、小テストで間違えたところをやり直す。 (テスト勉強) 第1～13回の授業内容を復習するとともに、小テストで間違えたところを見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	請求記号 図書記号 補助記号 別置記号	答え合わせ フィードバック 講義 質疑応答 9類について発表	所蔵事項としての分類記号を理解することができる。 9類の特徴を言うことができる。	(復習) 返却された答案を見直す。 対等と相互作用の関係について書き出して整理する。 (テスト勉強) 第1～14回の授業内容を復習するとともに、小テストで間違えたところを見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	総合テスト	テスト フィードバック	これまで学んだ内容を理解できている(6割以上正解ならば合格とする)。	(復習) 第1～15回の授業内容を復習するとともに、総合テストで間違えたところを見直す。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力